

新年のごあいさつ

「相手を思いやる」

「今ある命に感謝する」

布施行を実践しましょう

萬福寺 住職 安本由道



令和という年号になってから初めての年明けとなりました。本年も何卒よろしくお願い申しあげます

昨年は日本の台風をはじめ世界中で災害の報道が多々ありました。報道を見るたびに凄惨な状況に心が痛むばかりです。

現在、日本では首都直下型地震をはじめ各地に大規模地震が想定されており、国や自治会を含め多くの対策が講じられておりますけれど、いざという時は行政だけでなく、自分を自分で守る行動とみんなで協力し合うこと、そしてお互いを助け合う思いやりが重要なのではないのでしょうか。

3月はお彼岸です。仏教には悟り(彼岸)に到る6つの実践(六波羅蜜)があります。その最初に位置する修業が布施行ですが、布施行とは、見返りを求めない施しと、施しを受ける者のほうもまた清らかな心で受けるという、双方の実践とされています。

それは、相手を思いやることもまた布施行(やさしい言葉をかけてあげる等)であり、受け取る時も素直に、そして欲張らず感謝の気持ちをもって受け取るということ。御多忙の日々ですと忘れがちですが、皆様も私もお先祖様が繋いでくださった命をもって今を生きております。この繋いでくださった命を大事にし、感謝すること。これらもまた布施行なのではないでしょうか。

お彼岸は、これらの気持ちをもってご先祖をご供養される時期です。そして、この教えを実践されることで、先に述べました災害の時でもお互いを助け合う事が出来るようなればと切に願うばかりです。

末尾となりますが、本年の皆様のご健康・ご多幸を祈願いたします。どうぞ、本年も宜しくお願い致します。



正月大般若会御祈禱諷経で「大般若経」を転読するご住職(写真中央)と、参列の皆様(写真右・左)



法要後、無病息災を願って經典の風を浴び、おふだをいただきました